

学校教育目標「支えあい、学びあい、高めあう 太田中」

目指す子ども像

- ・互いの違いを認め合い、違いに学ぶ生徒
- ・自らの課題に向き合い、仲間と共に解決しようとする生徒
- ・自分らしさを大切に、たくましくしなやかに生きる力を持つ生徒
- ・様々なことに興味・関心を持ち、積極的に学びに向かう生徒

目指す学校像

～チームとしての学校～

- ・教職員や学校内外の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして力を発揮し、生徒たちに必要な資質・能力を身につけさせる。
- ・「学校教育目標」や「学習指導要領」が育成を目指す資質・能力を共有し、協働できる体制をチームとして確立する。

「支えあい」

一人ひとりの違いを認め合い、尊重し合い、協力し合える生徒の育成を目指します。

地域ともつながり、地域からも支えて頂きながら、信頼される学校づくりを進めていきます。

「学びあい」

一人ひとりがしっかり学び、確かな学力を育むため、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指します。

学力だけでなく、これからの社会で人と共に生きる力を色々な機会学び、身に付けていける取り組みを進めていきます。

「高めあう」

授業や行事、部活動、自主活動などで自分の可能性を広げることに積極的に挑戦する生徒の育成を目指します。

すべての生徒が、生き生きと活動する学校を目指します。

学校教育目標実現に向けて

授業改革・学力保障

～授業が楽しい、よくわかる、だから学校が好き～

- ・授業改革・学力保障委員会を中心に校内研修会や授業交流等の取り組みを推進する。
- ・生徒の現状に見合った授業づくりができるよう教科内・学年・学校での意思疎通を図り、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指す。
- ・教師も生徒も授業を大切にする雰囲気が作れるよう、「学ぶ」意識を強く持つ。

生徒指導

～見る努力、気づく鋭さ、指導の速さ～

- ・生徒指導委員会を中心に、チームとして組織的な対応をする。
- ・「生徒理解」を基本とし、生活の背景に心と目を向けて適切に対応する。
- ・些細なサインや行動の変化を見逃さず、常に保護者や地域と協力し、SC：SSWや関係機関と連携を取り、迅速な対応を展開する。

人権教育

～仲間同士のつながりの中で人権の大切さを学び、課題を解決する力を育む～

- ・人権教育委員会を中心に、教科横断的で系統的な人権学習カリキュラム及び教職員研修の充実を図り、生徒・教職員の知識と豊かな人権感覚の涵養を目指す。
- ・差別やいじめに等の事案をいち早くキャッチし、人権教育委員会で共有、改善策を検討する。
- ・子どもたちをつなぐ・つなげるをキーワードに、集団作りに焦点を当て、縦横のつながりを意識した人権学習の取り組みを充実させる。子どもたちをつなぐ。
- ・自己を見つめ、将来の生き方を問うキャリア教育の推進を目指す。

支援教育

～支援教育の観点をすべての教育活動の基盤とすることを目指す～

- ・すべての教育活動において、教職員が一丸となって、きめ細かな支援を目指す。
- ・人権教育や道徳教育などを充実させ、生徒指導の視点も踏まえ、特別な支援を必要とする生徒が、生き生きと生活を送れるよう、支援コーディネーターを中心に、学校全体で取り組んでいく。